



# IFReCとの包括連携の概要について

中外製薬株式会社  
上席執行役員 研究本部長  
岡部 尚文

2017年1月13日

# 創薬等医療技術研究開発の世界的潮流

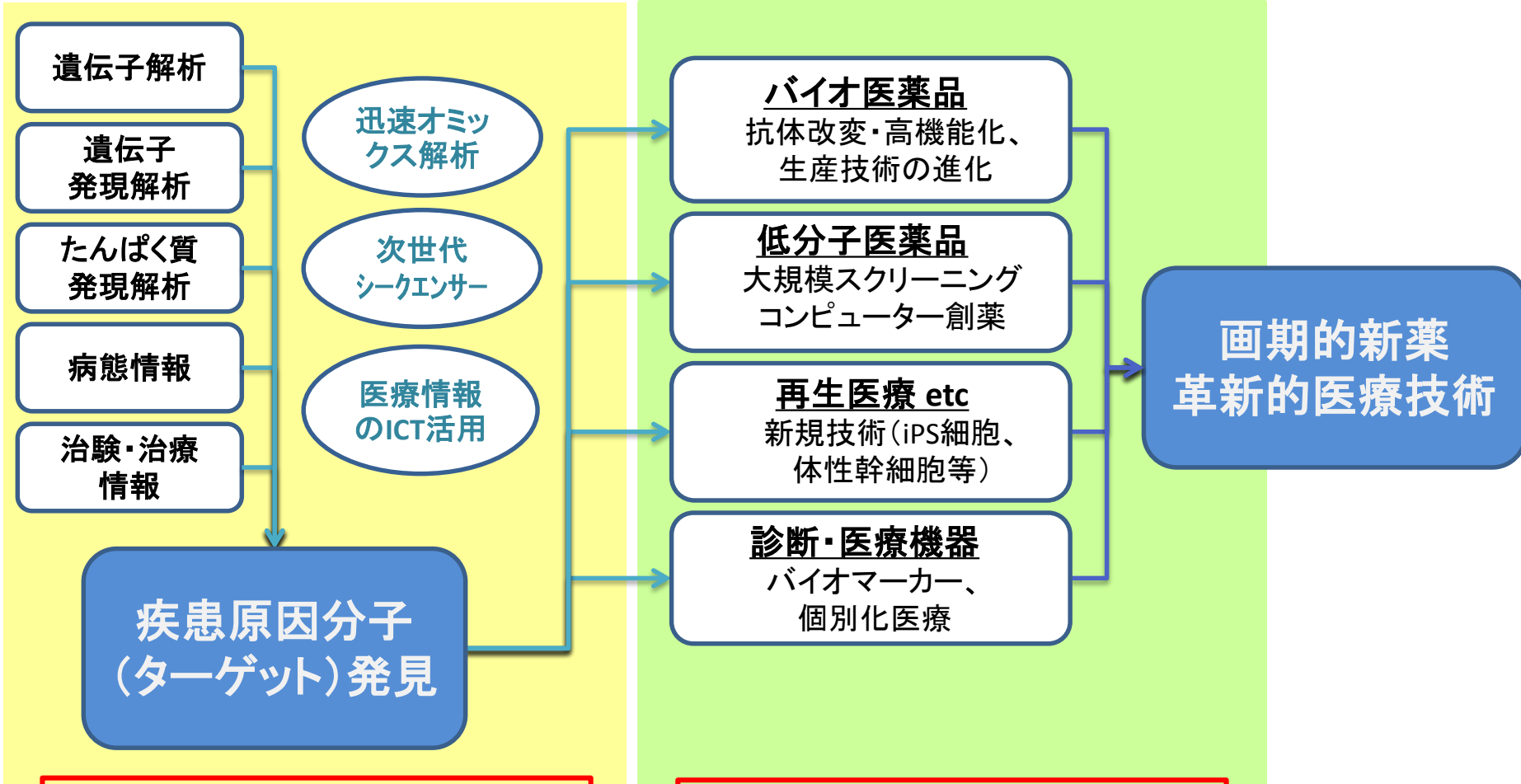
すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

## 疾病メカニズム解明進展

## 創薬等医療技術の高度化



ヒトの個体差、動物とヒトの種差の正確な理解が必要

臨床応用可能な多面的完成度の高さが必要

# 中外製薬の創薬戦略

## ～技術ドリブンのアプローチ～

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

疾患原因分子

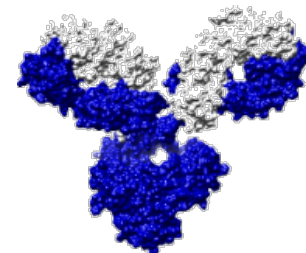
適切な創薬ターゲットの選択  
革新的医薬品創製技術の開発

次世代(高機能化)抗体

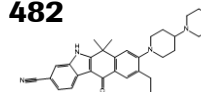
低分子医薬品

中分子医薬品

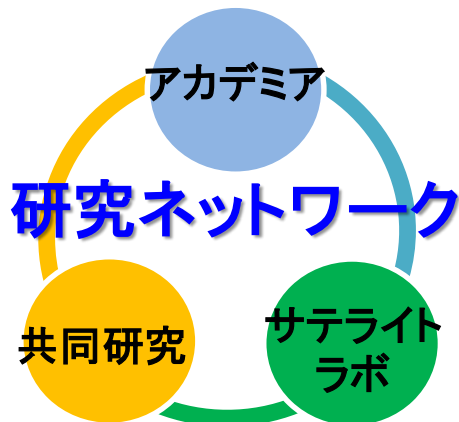
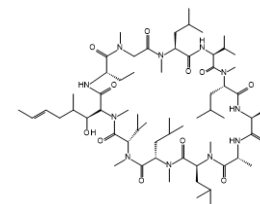
抗体医薬品  
mw: 150,000



低分子医薬品  
アレクチニブ, mw: 482



中分子医薬品  
環状ペプチド, mw: ~1,000~



技術とターゲットのマッチング

質の高いヒト検体と詳細な関連情報の取得・解析

アンメットメディカル  
ニーズへ対応

# IFReCと中外の包括連携がもたらす価値

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

IFReCは日本で世界トップクラスの免疫学研究者が集う研究所

～IFReC最先端の免疫学と中外創薬技術の融合から生まれるイノベーション～

## IFReC

免疫学、生体イメージング、  
バイオインフォマティクス  
分野において  
世界最先端を走る、  
創薬シーズの宝庫



## 中外製薬

多様な創薬標的に対応できる  
革新的医薬品創製技術  
を駆使した技術ドリブンの  
創薬アプローチ

免疫異常を伴う疾患の病態メカニズムの理解  
革新的な新規標的分子の同定

世界の免疫学を牽引

画期的新薬の創出

# IFReC・中外包括連携のスキーム

すべての革新は患者さんのために



これまでの共同研究による相互理解、信頼関係の構築、新薬創出の実績から  
IFReCの自主的基礎研究段階から連携する新しい産学連携へ

## IFReC 自主研究

- IFReC研究者による自由な先端的免疫学研究
- 自主研究成果\*を中外に定期的開示

包括連携契約

研究資金拠出  
10億円/年 x 10年間

成果の開示

共同研究に関する  
第一選択権

\*: 第三者との既契約を除く

## 共同研究

- 連携推進ラボ: 研究者交流、共同研究実施

個別共同研究  
契約

## 中外 プロジェクト

- 複数の革新的プロジェクトの創出を目標

画期的新薬